

～ 先輩獣医師に聞きたい7つの話 ～

Q5 就職活動中、民間や他の自治体も併願しましたか。

- A5
- ・併願した 17名(48.6%)
 - ・併願していない 18名(51.4%)

※併願先

- ・民間企業 1名(5.9%)
- ・他の自治体 14名(82.3%)
- ・その他 2名(11.8%)

[・農業共済組合]

※併願先ではなく、福島県獣医師を選んだ理由

- 福島県(地元)への貢献
 - ・福島県出身であるため地元へ貢献したかった。
 - ・地元で働きたいと思った。
- 友人や先輩職員の声
 - ・福島県出身の友人から、東日本大震災のこと、また、復興のために一層獣医師が必要とされることを聞き、少しでも力になればと気持ち固まった。(以前、福島県に修学旅行で訪れた際、自然の美しさ等感動したことも後押しした。)
 - ・同じ出身大学の職員の声が福島県のホームページに掲載されており、実際に働くイメージができた。
- 県のインターンシップ研修への参加
 - ・県のインターンシップに参加して、仕事に興味があった。
 - ・インターンシップの印象がよかった。
- 制度面等の充実
 - ・昇給制度や各種手当、給付事業がありライフプランを立てやすいと感じた。
 - ・臨床系もスキルアップとしては魅力的であるが、土日祝日の対応や給料面でやや不安定であり、体力的にも続けられる自身がなかった。一方、県獣医師は福利厚生面で安定していると感じた。

- もともと福島県で働きたいという意思があり、出産や子育てなど人生のステージが進んでも働き続けることのできる職場であると思ったから。

●その他

- 就職活動をしていた当時は震災の被害が色濃く、家畜衛生業務をとおして福島県の畜産復興に役立ちたいと思い、福島県を選んだ。
- 獣医師が足りていない県のほうが貢献できると思った。
- 食肉衛生や大動物に携わりたいと思った。
- 異動範囲が広すぎないこと。
- 市よりも職員数が多いため、人間関係で辛いことがあっても異動ができること。